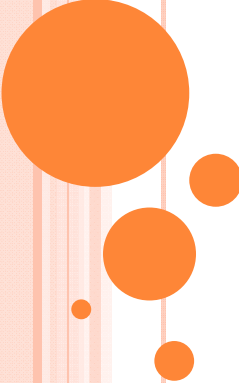



奥州市内における記録史料の調査および仮目録の作成



岩手大学人文社会科学部
人間文化課程 歴史プログラム 4年
庄子美祐

記録史料の調査および仮目録作成の目的

- 史料の所在や保存状況を明確にし、保存・管理に寄与する
 - 史料の保存や管理だけでなく、史料を用いた研究にも役立つ
- 

今年度行った史料調査

①『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査

②『下柳千葉家文書』調査

①『旧高橋家(高萬家)文書』
悉皆調査

①『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査

○ 旧高橋家(高萬家)について

→旧高橋家(高萬)は、

近世:水沢伊達氏家中

近代:衆議院議員(高橋金治)・水沢町長(高橋敬章・悌三郎)を輩出した一族

邸宅及び付属屋は国指定重要文化財に指定

→同家の屋敷地及び史料の一切は奥州市に寄贈

内部の記録史料は目録化が未了

→今回は金庫蔵の史料を中心に調査

①『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査

→昨年度から実施、今年度は二回目の悉皆調査

○ 実施期間:今年度は9月15日～19日の計5日間

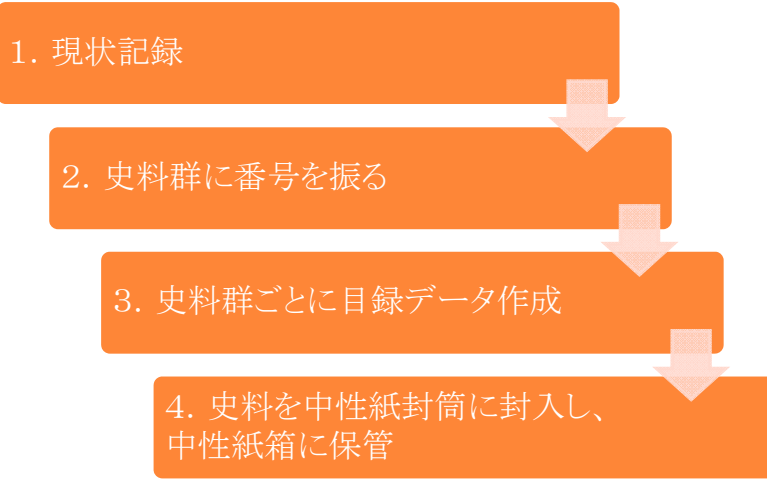
○ 参加者:奥州市学芸員高橋和孝さん、岩手大学教授家井美千子先生、学部生5名

○ 実施場所:高野長英旧宅(昨年度と同じ)

○ 調査時間:9時30分～17時頃

①『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査

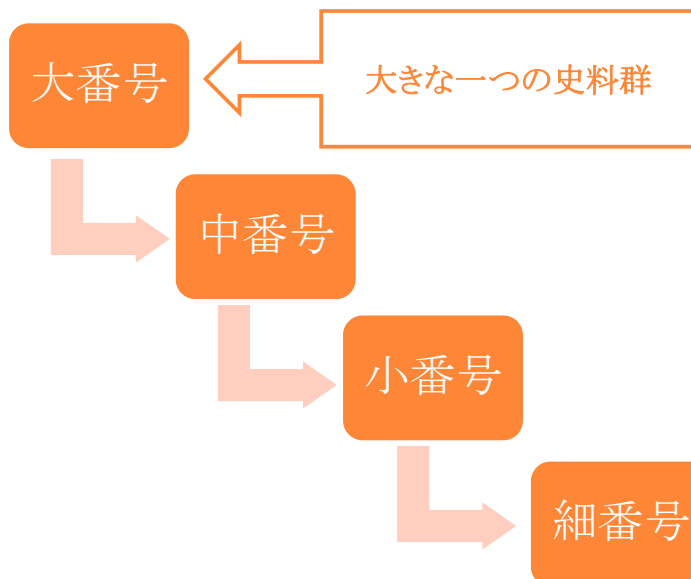
○ 調査の流れ



☞ 史料群を崩さず、史料の所在を明確にした上で、史料の劣化を防ぐ

①『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査

○ 史料番号の付け方



①『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査

○作成した目録データの特記事項

- ・史料番号(大・中・小・細)
- ・標題(外題や文書の事書、文書の1行目など)
- ・年代(日付・年代幅)
- ・形態(現形・記入方法)
- ・作成者
- ・劣化状況
- ・数量
- ・備考

①『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査

<『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査の目録データ例>

大	中	番号		標題	作成者	年代		数量	形態		劣化状況	備考
		小	細			年月日	推定		形式	記入		
A9		1	0	組	-	-	近代	1組	-	-	-	-
			1	生命保険関係書類	-	明治31~	-	15一枚もの	墨書、印刷	-	-	包み紙
		2	0	故金治加入シタリシ生命保険ノ受領証在中ノ反古ニ属スベキモノ	-	-	近代	1	墨書	-	-	組、包み紙
			1	日清生命保険関係書類	-	-	近代	13一枚もの	墨書、印刷	-	-	封筒アリ
			2	千代田生命保険関係書類	-	-	近代	10一枚もの	墨書、印刷	-	-	封筒アリ
			3	組育生命保険関係書類	-	明治44.4.27	-	9一枚もの	墨書、印刷	-	-	封筒アリ
			4	東海生命保険関係書類	-	大正5.12.23	-	6一枚もの	墨書、印刷、ペン書き	-	-	-
			5	大同生命保険関係書類	-	明治44.7.21	-	9一枚もの	墨書、印刷、ペン書き	-	-	-
			6	日本生命保険関係書類	-	大正2.11.25	-	9一枚もの	墨書、印刷、ペン書き	-	-	-
			7	明治生命保険関係書類	-	明治45.3.24	-	8一枚もの	印刷、ペン書き、鉛筆	-	-	-
			8	共済生命保険関係書類	-	明治43.6.21	-	10一枚もの	墨書、ペン書き、印刷	-	-	-
			9	横濱生命保険関係書類	-	大正3.10.9	-	10一枚もの	墨書、ペン書き、印刷	-	-	-

①『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査

・史料番号

番号			
大	中	小	細
A9		1	0
			1
		2	0
			1

①『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査

・標題、作成者、年代

標題	作成者	年代	
		年月日	推定
紐	-	-	近代
生命保険関係書類	-	明治31～	-
故金治加入シタリシ生命保険ノ受領証在中ノ反古ニ属スベキモノ	-	-	近代
日清生命保険関係書類	-	-	近代

①『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査

・数量、形態、劣化状況、備考

数量	形態		劣化状況	備考
	形式	記入		
1	紐	-	-	-
15	一枚もの	墨書、印刷	-	包み紙
1		墨書	-	紐、包み紙
13	一枚もの	墨書、印刷	-	封筒アリ
10	一枚もの	墨書、印刷	-	封筒アリ

①『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査

○ 目録化済史料の保存について

→史料の劣化(酸化)を防ぐため、中性紙封筒に封入したうえで中性紙箱に保管



①『旧高橋家(高萬家)文書』悉皆調査

○ 第一回・第二回悉皆調査をあわせた調査成果

→金庫蔵全体の約4/5の調査完了

今後は引き続き金庫蔵の史料のうち、残りの約1/5の史料群を調査していく

各メディアによる取材あり
(右は胆江日日新聞記事の引用)

pickup : 市教委 / 岩手大 「高萬家」文書を調査 経済的役割に迫る (水沢)
投稿者: tanko 投稿日時: 2019-09-19 09:36:11 (74 ヒット)

市教育委員会と岩手大学は19日まで、水沢大郡小路の高野長良旧宅付属建物で旧高橋家(高萬家)文書の第2次悉皆調査を実施している。1万点以上とみられる史料の分類を進め、保存や管理、研究に役立てたい考えだ。

市と同大が締結している協定「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」の一環。市教委歴史遺産課から高橋和孝学芸員、同大から人文社会科学部の家井美千子教授(63)と学生6人が参加した。

長良旧宅に隣接する高萬家は金庫蔵と土蔵を所有しており、旧蔵に江戸時代後期から昭和初期にかけての文獻資料1万点以上が収納されているとみられる。

このうち今回の調査対象は金庫蔵に残された文書約5000点。昨年9月の第1次調査で2000点ほどがリスト(仮目録)化されており、今回も同程度の調査を目標に年内中の整理完了を目指す。内容は納税や資金貸し付けなど、経済に関するものが多数を占めるという。

一方、土蔵には手紙類が多く含まれるとみられるが、正確な数は分かっていない。金庫蔵の調査が終われば次着手する予定だ。

家井教授は「文書の内容から、高萬家が公共事業を行ったり小作人の生活を世話したりするなど、地域のリーダー的役割を果たしていたことが読み取れる。地主には悪のイメージが付きまとうが、史料を精査すれば見方が変わるかもしれない」と話す。

同大4年の庄子美希さん(21)は、恒産に文書を手に取り、種類や年代をパソコンに入力。「普段見ることのない貴重な史料。授業だけではイメージしづらいが、現物を触ると理解が深まる」と調査への意欲をみせていた。

高萬家は水沢伊達家に仕え、初代水沢町長の敬章(4代目)や衆議院議員の金治(5代目)を輩出した一族。明治維新を機に、土地収入を基礎とした金融業などで財を成した。現存する建物群は国の重要文化財に指定されている。

調査結果と作成された仮目録は、誰でも閲覧できる形での公開を目指す。閲覧方法などは関係機関と協議して決定する予定。

写真=文書を解読し、種類や年代をパソコンに入力する学生ら



②『下柳千葉家文書』調査

②『下柳千葉家文書』調査

○ 下柳千葉家

→近世仙台藩領、江刺郡黒石村下柳に居を構えた

江刺郡の大肝入や上川御艦肝入などを務めていた

史料の特徴:大肝入の職務に関する史料や、北上川舟運に関する史料が含まれる

②『下柳千葉家文書』調査

● 『下柳千葉家文書』調査について

2018年度 岩手大学にて本格的に調査開始



2019年度 調査継続中

②『下柳千葉家文書』調査

○『下柳千葉家文書』調査の作業内容

従事者:岩手大学人文社会科学部の学生11名
(4年生4名、3年生5名、2年生2名)

作業頻度:週2～3回

②『下柳千葉家文書』調査

○『下柳千葉家文書』調査の作業内容

調査方式:

紙面での目録作成

目録データ作成

中性紙封筒に封入、中性紙箱に保管

②『下柳千葉家文書』調査

○作成した目録データの特記事項

旧高橋家(高萬家)の調査と形式はほぼ同じ

- ・当該文書の作成者の記録について
以前は項目に記載
現在は備考欄
→作成者を特定することが困難なため



②『下柳千葉家文書』調査

<『下柳千葉家文書』調査の目録データ例>

番号				表題	年代		形態	記入方法	数量	劣化状況	備考
大	中	小	細		年月日	推定					
65	0			紐	-	(現代)	ビニール紐	-	35	-	-
65	1			「当□□納口上伊沢と～」	■.7	(近世)	横切継紙	墨書	1	上部破損あり、破損により人工穴あり、二行目後半に「上納」、作成者に大肝入-	
65	2			「□川□□□御□□～」	10.7	(近世)	横切継紙	墨書	1	後半欠損につき判読不能な文中の真ん中に作成宛名ありく作 大肝入□□原修■	
65	3			<御膳肝入千葉兵太夫様書状>	10.9	(近世)	横切継紙	墨書	1	下部破損あり	人工穴あり、作成に目呂木村大内条之介とあり
65	4			「写」	9月	(近世)	横切継紙	墨書	1	後半部分破損	人工穴あり、冒頭「三川筋」、作成が鈴口之進、宛名
65	5			「□□御□□□御□□中～」	-	(近世)	横切継紙	墨書	1	後半破損あり	人工穴あり、作成に□□□千葉□■、宛名不明
65	6			「□□方□□□上御膳～」	10.11	(近世)	横切継紙	墨書	1	後半部分破損	人工穴あり、三行目冒頭に「上下伊澤」、作成に松
65	7			「上麻生村権□□□下姉体原□～」	10.27	(近世)	横切継紙	墨書	1	後半部分破損	人工穴あり、作成に御蔵守□□条七口、宛名に御膳
65	8			「御膳□□方□□□～」	■.朔	(近世)	横切継紙	墨書	1	後半部分破損	人工穴あり、作成に大肝入菊地悦蔵<印>、宛名に■
65	9			「□□□御上□□□□～」	-	(近世)	横切継紙	墨書	1	後半破損あり	人工穴あり、作成宛名不明下書きか、最後の方に「倒
65	10			「見□□□市□□□下□□□～」	11.5	(近世)	横折紙	墨書	1	下部破損あり	人工穴あり
65	11			「上川御石舟当□□□～」	11.8	(近世)	横切紙	墨書	1	後半破損により宛名不明	人工穴あり
65	12			「□坂長衛門七口□□□上□～」	11.11	(近世)	横切継紙	墨書	1	中間破損あり	人工穴あり、作成に□伊助、宛名に御膳肝入兵太夫
65	13			「下伊澤舟口御膳□□～」	10.29	(近世)	横切継紙	墨書	1	後半破損	人工穴あり、作成に小■、宛名に御膳肝入■葉
65	14			<飯御膳肝入千葉兵太夫殿書状>	11.17	(近世)	横切継紙	墨書	1	下部破損あり	人工穴あり、作成に小□■、宛名に飯御膳肝入千葉



②『下柳千葉家文書』調査

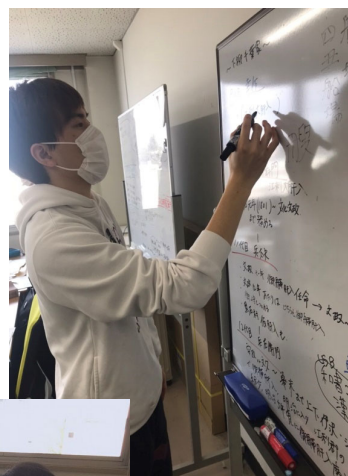
○現在の調査成果

岩手大学では、史料番号20～115までを調査予定

→現在、史料番号20～75まで調査済

今後も継続して調査を行い、目録データ化を目指す

②『下柳千葉家文書』調査



ご清聴ありがとうございました！

